

1 総括についての評価

本年度の学校の自己評価結果は概ね妥当である。

基礎・基本の学力が子どもたちに定着できるよう、学習活動が進められていることはわかった。しかしながら、「全国学力・学習状況調査」において、国語・算数ともに大阪市平均を下回っていると同時に無回答率が高いのも気になる。調査対象が6年生なので単純比較はできないが、1年生からの発達段階に合わせた積み上げの取組を検討してほしい。

また、「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」についても同様、この2年間の研究成果を基にし、子どもたちに運動の楽しさ、大切さを理解させ、個々の健康・体力の保持増進に向けて低学年から充実した取組を進めてほしい。

2 年度目標ごとの評価

【学力の向上】

本年度に取り組んだ読書活動を継続実施し、また、言語活動を積極的に取り入れた授業の充実を図り、学力の向上を目指すとともに、無回答率を減少できるように工夫・改善してほしい。

さらに、C-NETを活用した外国語活動ならびに土曜授業の内容の充実についても期待する。

【道徳心・社会性の育成】

全ての教育活動において、自分や友だちの良さを認められるような集団作りを期待する。

児童虐待については早期発見に努力し、疑いも含め事案が発生した時には関係諸機関との連携を密にし、問題の解決を図ってほしい。

【健康・体力の保持増進】

次年度の重点取組として2種目だけに特化せず、全般的にあそびやゲーム性を取り入れた運動を適宜実施し、1年生からの全体の底上げを目指してほしい。

【特別支援教育の充実】

個別の支援計画に基づいて現状の教育活動を継続し、保護者と連携を密に取りながら、支援の必要な子どもへの教育活動についてさらなる充実を目指してほしい。

【学校の活性化】

情報の共有化を図り、学校総体として課題解決に臨んでほしい。

また、避難訓練に関しては、次年度は地域とより連携を深めた形で実施できるよう計画を練ってほしい。

【教職員の資質・能力の向上】

教科における研修の充実はよくわかった。次年度は、教科のみならず、いじめや生活指導の研修・研究を実施し、学校教育全体としての資質の向上を目指してほしい。

【学校・家庭・地域の連携の推進】

きちんとあいさつのできる子どもが減ってきているように感じる。あいさつ運動については、学校はもとより、地域も協力して取り組んでいきたい。

様々な課題について、地域をもっと頼り、地域を活用してください。

3 今後の学校運営についての意見

学校・保護者・地域が一体となって、豊新小学校の課題解決に向けて全力で取り組んでほしい。

まあ、他校での取組などでいいものがあればどんどん取り入れ、子どもたちにとってよりよい教育環境となるよう努力を期待する。